

## 大原社会問題研究所五十年史

## Ⅱ 創立当初〔一九一九～二二年〕

## 『日本労働年鑑』等の刊行

この年五月二八日、『日本労働年鑑』が大原社会問題研究所出版部(東京都京橋区三十間堀)より発行された。部数千部。第一集の編集には主として戸田貞三研究員が当り、数名の助手、嘱託が協力した。労働年鑑はこの後毎年一回刊行され、太平洋戦争中数年の停刊期間をのぞいて、今日まで刊行されて来た。年々の労働者・農民の状態、労働運動、農民運動その他社会運動の動向や各種の政策等につき、客観的立場に立って記録するもので、ひとり国内において権威あるものとされるのみならず、世界的に見ても十分にその存在を誇りうる年鑑となった。

また『日本社会事業年鑑』第一集は同じく五月一五日附で、『日本社会衛生年鑑』は六月一〇日附でそれぞれ刊行された。社会事業年鑑はそれ以後一九二七年まで七冊続刊されたが、二八年以後は中止し、その内容の一部を『日本労働年鑑』に移し、社会事業関係の記述が後者にひきつがれた。『日本社会衛生年鑑』は第三集まで編集発行されたが、二二年以降は研究所より分離独立した倉敷労働科学研究所によって引きつづき刊行されたのである。

つぎに調査翻訳事業としては、前記の消費組合調査のほか、ポッター著『消費組合運動史』が久留間研究員によって翻訳されたこと、倉紡工場労働者の娯楽調査が権田嘱託の指導で行われたこと等があげられる。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行 [法政大学大原社会問題研究所](http://oisr.org)

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)